

令和5年度

第1学年 評価規準

評価について

「あゆみ」に記載する、①観点別学習状況、②行動のようす、③特別活動のようすの評価は、学校で定める評価規準をもとに評価を行っています。

①観点別学習状況は、評価規準をもとに、3段階評価を行っています。

A、B、Cの3段階評価です。	
「目標に対して十分満足できる」	A
「目標に対しておおむね満足できる」	B
「目標に対して努力を要する」	C

1年生の前期の評価については、スタートカリキュラムで教科の枠を越えて、学校生活に慣れることや主体的に学ぶことを中心にカリキュラムを編成しているため、生活・音楽・図画工作・体育においては、国語・算数に比べて少ない単元での評価となり、前期のみ2段階評価（B・C）としています。

②行動のようすは、評価規準をもとに、項目ごとにその趣旨に照らして「十分満足できる」状況にあると判断されるものに「○」印を記入します。

③特別活動のようすは、特別活動（1・2・3年生は学級活動、児童会活動、学校行事、4年生以上は学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事）全体にわたって認められる、お子様の活動を評価します。内容ごとにその趣旨に照らして「十分満足できる」状況にあると判断されるものに「○」印を記入します。

評価規準の内容について

評価規準に記載されている内容は、3段階評価の規準に対しておおむね満足できる場合は、3段階評価のBとなります。

※評価規準は、年度当初に計画したものを記載しているため、児童の実態や学習状況に応じて単元や内容を変更している場合もあります。

第1学年 国語科 前期 評価規準

単元一覧表

単元名	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
いいてんき	ア	ソ	進んで友達の話に興味をもち、これまでの経験をいかして話したり応答したりしようとしている。
おはなし たのしいな	コ	ナ	これまでの経験をいかし、積極的にいろいろな本を取り、読み聞かせを楽しもうとしている。
あつまって はなそう	ア	セ	積極的に友達の話聞き、学習課題に沿って友達と伝え合おうとしている。
えんぴつと なかよし	ケ		正しい姿勢や鉛筆の持ち方で書くことに粘り強く取り組み、自分なりに、字を書く際に気を付けたいことを見付けようとしている。
どうぞ よろしく	カ	サ、タ	これまでの経験をいかし、積極的に自分の名前を書いたり好きなものを考えたりし、友達と交流しようとしている。
なんて いおうかな	カ	サ	経験をもとに積極的に考え、学習課題に沿って自分の考えを伝え合おうとしている。
こんな もの みつけたよ	ア	サ	紹介したい事柄を積極的選び、見付けたものをより分かりやすく紹介しようとしている。
うたに あわせて あいうえお	イ、ク		姿勢や口形、発声に進んで注意し、学習課題に沿って音読しようとしている。
こえに だして よもう	キ	テ	詩に描かれた様子を進んで想像し、これまでの学習をいかして音読しようとしている。
ききたいな、ともだちの はなし	ア	ス、セ	興味をもって友達の話聞き、より伝える話し方を考えながら、みんなに知らせようとしている。
たのしいな、ことばあそび	イ、エ、ク		語句の音節と文字の関性に積極的に関心をもち、今までの学習をいかして言葉を集めようとしている。
はなの みち	キ	テ	興味をもって話の内容を捉え、友達と協力して音読しようとしている。
としょかんへ いこう	コ		積極的に図書館について知ろうとし、学習課題に沿って読みたい本を見付けようとしている。
かきと かぎ	ウ		進んで濁音を含む言葉を見付けようとし、これまでの学習をいかして文字を表そうとしている。
ぶんを つくろう	ウ、オ	チ	語と語の続き方を丁寧に確かめながら、今までの学習をいかして文を書こうとしている。
ねこと ねっこ	ウ	チ	進んで促音や半濁音のある言葉を見付けようとし、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
わけを はなそう	ア	サ、シ	これまでの学習の経験をいかし、話す事柄の順序を進んで考えながら、気持ちとわけを話そうとしている。
おばさんと おばあさん	ウ	チ	進んで長音のある言葉を見付けようとし、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
くちばし	オ	ツ、ト	積極的に説明の順序を捉えながら文章を読み、学習

			課題に沿って分かったことや考えたことを伝えようとしている。
おもちゃと おもちゃ	ウ	チ	進んで拗音のある言葉を見付けようとし、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
あいうえおで あそぼう	ウ、ク		これまでの学習をいかし、進んで平仮名の五十音を確かめ、言葉遊びを楽しもうとしている。
おおきく なった	エ	タ	植物をさまざまな観点から積極的に観察し、これまでの学習をいかして観察したことを記録しようとしている。
おおきな かぶ	キ	テ	積極的に登場人物の行動を捉え、これまでの学習をいかして劇遊びをしようとしている。
はをへを つかおう	ウ	チ	これまでの学習をいかし、助詞使い方を進んで確かめながら文を作ろうとしている。
すきな もの、なかに	ア	サ、シ、チ	これまでの学習をいかし、粘り強く伝えたいことや表し方を考え、自分が好きなものとその理由を紹介しようとしている。
ききたいな、ともだちのはなし	ア	セ、チ	学習の見通しをもって、積極的に友達の話を読み、質問や感想を述べようとしている。
おむすび ころりん	ク、コ	ノ	進んで昔話の内容を捉え、これまでの学習をいかして音読しようとしている。
としょかんと なかよし	ス		積極的にいろいろな本を手に取り、これまでの学習をいかして本を選ぼうとしている。

○知識・技能(1)言葉の特徴や使い方

記号	内容
ア	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。
イ	音節と文字の関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。
ウ	長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。
エ	身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。
オ	文の中における主語と述語の関係に気付くこと。
カ	丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れること。
キ	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。

○知識・技能(3)我が国の言語文化

記号	内容
ク	長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付くこと。
ケ	書写に関する事項を理解し使うこと。
コ	読書に親しみ、いろいろな本があることを知ること。

○思考・判断・表現【A話すこと・聞くこと】

記号	内容
サ	身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。
シ	相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えること。
ス	伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。
セ	話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。
ソ	互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐこと。

○思考・判断・表現【B書くこと】

タ	経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。
チ	語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。

○思考・判断・表現【C読むこと】

ツ	時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。
テ	場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。
ト	文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。
ナ	文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。
ニ	文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。
ヌ	文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。
ネ	時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。
ノ	場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。

第1学年 算数科 前期 評価規準

単元一覧表

記号	単元名
ア	なかまづくりとかず
イ	なんばんめ
ウ	あわせていくつ ふえるといくつ
エ	のこりはいくつ ちがいはいくつ
オ	どちらがながい

○知識・技能

記号	内容
ア	10までの数について、1対1対応により集合の要素の個数を比べる方法や数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、集合の要素の個数を比べたり、数を正しく数え数字を読んだり書いたり、数の合成、分解をしたりすることができる。
イ	数を用いた順序や位置の表し方を理解し、数を用いて順序や位置を表すことができる。
ウ	合併や増加など、加法が用いられる場合について知り、加法の意味を理解し、和が10以内の加法計算が確実にできる。
エ	求残や求補、求差など、減法が用いられる場合について知り、減法の意味を理解し、被減数が10以内の減法計算が確実にできる。
オ	長さについての基礎的な意味や、比較の方法、任意単位による測定の方法を理解し、長さについての基礎的な感覚を身につけ、直接比較や間接比較、任意単位による測定などによって、長さを比べることができる。

○思考・判断・表現

記号	内容
ア	数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え言葉やブロックなどを用いて表現している。数の構成に着目し、1つの数をほかの2つの数の和や差としてとらえ言葉や半具体物などを用いて表現している。
イ	数を順序や位置を表すものとしてみて、基点に着目して順序や位置を考え、数を用いて順序や位置を表現している。
ウ	加法の意味に着目し、合併や増加などの場面を加法の式に表し、その計算の仕方を1位数の構成や操作などを用いて考え、表現している。
エ	減法の意味に着目し、求残や求補、求差などの場面を減法の式に表し、その計算の仕方を数の構成や操作などを用いて考え、表現している。
オ	身の回りにあるものの長さに着目して、直接比較や間接比較、任意単位による長さの比べ方を考えたり、任意単位により長さを数値で表したりしている。

○主体的に学習に取り組む態度

記号	内容
ア	具体的な場面において、ものの個数を数で表すことのよさに気づき、積極的にいろいろなものの個数を数えたり、表したりしようとしている。
イ	身近なものの順序や位置をいろいろな基準をもとにして表そうとしている。
ウ	加法の意味や加法計算の仕方について、数構成や操作などを用いて考えた過程や結果を振り返り、加法の考え方を積極的に用いようとしている。
エ	減法の意味や減法計算の仕方について、数構成や操作などを用いて考えた過程や結果を振り返り、減法の考え方を積極的に用いようとしている。
オ	身の回りにあるものの長さに関心を持ち、比較の方法を工夫した過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

第1学年 生活科 前期 評価規準

単元一覧表

記号	単元名
ア	なかよしいっぱい だいさくせん
イ	さかせたいな わたしのはな
ウ	なつだ とびだそう
エ	いきものと なかよし

○知識・技能

記号	内容
ア	学校や通学路の探検を通して、学校での生活がさまざまな人や施設と関わっていることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身につけている。
イ	継続的に植物を栽培する活動を通して、植物が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身につけている。
ウ	夏の自然に触れる活動を通して、身近にある自然の様子に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身につけている。
エ	継続的に生き物を飼育する活動を通して、生き物が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身につけている。

○思考・判断・表現

記号	内容
ア	学校や通学路の探検を通して、学校の施設や、学校生活を支えている人々や友達、通学路やその安全を守っている人々との関わりについて考えている。
イ	継続的に植物を栽培する活動を通して、植物の育つ場所、変化や成長の様子について考えている。
ウ	夏の自然に触れる活動を通して、身近にある自然の特徴について考えている。
エ	継続的に生き物を飼育する活動を通して、生き物の生態、変化や成長の様子について考えている。

○主体的に学習に取り組む態度

記号	内容
ア	学校や通学路の探検を通して、楽しく安心して遊んだり生活したり、安全な登下校をしたりしようとしている。
イ	継続的に植物を栽培する活動を通して、親しみをもち、大切にしようとしている。
ウ	夏の自然に触れる活動を通して、身近にある自然を取り入れて生活を楽しくしようとしている。
エ	継続的に生き物を飼育する活動を通して、生き物に親しみをもち、大切にしようとしている。

第1学年 音楽科 前期 評価規準

単元一覧表

記号	題材名
ア	どんなうたがあるかな / 校歌
	ひらいた ひらいた
	かたつむり
	うみ
イ	ぶん ぶん ぶん
	しろくまの ジェンカ
	わくわく キッチン
ウ	たんと うんで リズムをつくろう
エ	ゴーアンドストップ / サンダーバードほか

○知識・技能

記号	内容
	曲想と音楽の構造との関わりに気づき、思いに合った表現をするために必要な歌声や演奏の仕方を身に付けて表現する。
ア	・範唱や伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、歌声及び発音に気を付けて歌ったりしている。
イ	・曲想と音楽の構造との関わりや、楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付いている。 ・思いに合った表現をするために必要な範奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏している。 ・互いの楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏している。
ウ	・発想を生かした表現をするために必要な設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けて音楽をつくっている。
エ	・曲想と音楽の構造との関わりや、曲や演奏の楽しさに気付いている。

○思考・判断・表現

記号	内容
	音楽を形づくっている要素を聞き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聞き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音や声を合わせて表現するかについて思いをもっている。
ア	・曲想を感じ取ったり互いの歌声や伴奏を聴いたりして、どのように歌うかについて思いをもっている。
イ	・互いの楽器の音や伴奏を聴いて、どのように音を合わせて演奏すればいいかについて思いをもっている。
ウ	・音遊びを通して、音楽づくりの発想を得ている。
エ	・聞き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見だし、身体表現をするなどしながら曲全体を味わって聴いている。

○主体的に学習に取り組む態度

記号	内容
	音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に、学習活動に取り組もうとしている。
ア	・曲想を感じ取ろうとしたり、声を合わせて歌うためにどうすればいいか考えたりしながら、進んで学習活動に取り組もうとしている。
イ	・音を合わせて演奏するためにどうすればいいか考えながら、進んで学習活動に取り組もうとしている。
ウ	・発想を生かして音遊びをするための工夫を考えながら、進んで学習活動に取り組もうとしている。
エ	・曲や演奏の楽しさに気付いて聴く学習活動に進んで取り組もうとしている。

第1学年 図画工作科 前期 評価規準

単元一覧表

記号	単元名
ア	すきな かたちや いろ なあに
イ	かきたい もの なあに
ウ	ちょきちょき かざり
エ	すなや つちと なかよし
オ	やぶいた かたちから うまれたよ
カ	ひもひも ねんど
キ	ごちそう パーティー はじめよう！
ク	カラフル いろみず

○知識・技能

記号	内容
ア	オリエンテーションのため評価なし
イ	知識：好きなものを思い浮かべながら描くときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色などに気付いている。 技能：クレヨン・パスなどに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表している。
ウ	知識：紙を切っているいろいろな形をつくったり、教室を飾ったりするときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色などに気付いている。 技能：紙、はさみ、のりなどに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表している。
エ	知識：砂や土に体全体で関わり活動するときの感覚や行為を通して、いろいろな形や触った感じなどに気付いている。 技能：砂や土に十分に慣れるとともに、山をつくったり、穴をほったり、型抜きをしたりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくっている。
オ	知識：紙を破いたりちぎったり、それらを並べたりして思い付いたことを表すときの感覚や行為を通して、紙を破いた感触や、いろいろな形や色などに気付いている。 技能：クレヨン・パス、のり、紙などに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表している。
カ	知識：粘土をひもにしながらい思い付いた形を表すときの感覚や行為を通して、触った感じやいろいろな形などに気付いている。 技能：油粘土に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表している。
キ	知識：いろいろな食べ物の形を思い浮かべて油粘土で表すときの感覚や行為を通して、いろいろな形や触った感じなどに気付いている。 技能：油粘土、粘土べらに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表している。
ク	知識：色水をつくったり並べたりするときの感覚や行為を通して、いろいろな色や形などに気付いている。

技能：共用の絵の具に十分に慣れるとともに、色水を混ぜたり並べたりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくっている。

○思考・判断・表現

記号	内容
ア	オリエンテーションのため評価なし
イ	<p>表現：いろいろな形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、好きだと感じたことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。</p> <p>鑑賞：いろいろな形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</p>
ウ	<p>表現：いろいろな形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、切った紙の形や色から感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。</p> <p>鑑賞：いろいろな形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品や飾った様子などの造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</p>
エ	<p>表現：いろいろな形や触った感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、砂や土の形などを基に造形的な活動を思い付き、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するかについて考えている。</p> <p>鑑賞：いろいろな形や触った感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、砂や土、つくったものなどの造形的な面白さや楽しさ、造形的な活動、つくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</p>
オ	<p>表現：いろいろな形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、紙を破いたりちぎったりした感触や、紙の形や色から感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。</p> <p>鑑賞：いろいろな形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品や紙などの造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</p>
カ	<p>表現：触った感じやいろいろな形を基に、自分のイメージをもちながら、油粘土に触った感じやひもにした形から感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、好きな形を選んだり、いろいろな形を考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。</p> <p>鑑賞：触った感じやいろいろな形などを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品や油粘土の造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</p>
キ	<p>表現：いろいろな形や触った感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、「ごちそう」から感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、好きな形を選んだり、いろいろな形を考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。</p> <p>鑑賞：いろいろな形や触った感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</p>

ク	<p>表現：いろいろな色や形などを基に，自分のイメージをもちながら，色水の色などを基に造形的な活動を思い付き，感覚や気持ちを生かしながら，どのように活動するかについて考えている。</p> <p>鑑賞：いろいろな色や形などを基に，自分のイメージをもちながら，色水やつくったものなどの造形的な面白さや楽しさ，造形的な活動，つくり方などについて，感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げている。</p>
---	--

○主体的に学習に取り組む態度

記号	内容
ア	オリエンテーションのため評価なし
イ	つくりだす喜びを味わい楽しくかきたいものを好きな形や色で表す学習活動に取り組もうとしている。
ウ	つくりだす喜びを味わい楽しく紙を切ってできるいろいろな形で，教室を飾る学習活動に取り組もうとしている。
エ	つくりだす喜びを味わい楽しく砂や土に体全体で触れながら，思い付いたことを試す学習活動に取り組もうとしている。
オ	つくりだす喜びを味わい楽しく破いたりちぎったりした紙の形から思い付いたことを表す学習活動に取り組もうとしている。
カ	つくりだす喜びを味わい楽しく粘土をひもにしながらい思い付いた形を表す学習活動に取り組もうとしている。
キ	つくりだす喜びを味わい楽しくいろいろな食べ物の形を思い浮かべて油粘土で表す学習活動に取り組もうとしている。
ク	つくりだす喜びを味わい楽しくいろいろな色水をつくることから思い付いたことを試す学習活動に取り組もうとしている。

第1学年 体育科 前期 評価規準

単元一覧表

記号	単元名
ア	体づくり運動（多様な動きをつくる運動遊び）
イ	走の運動遊び（かけっこ・リレー）
ウ	固定施設（鉄棒）
エ	水遊び

○知識・技能

記号	内容
ア	・多様な動きをつくる運動遊びの行い方を知るとともに、体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きをすることができる。
イ	・走の運動遊びの行い方を知るとともに、いろいろな方向に走ったり、低い障害物を走り越えたりすることができる。
ウ	・鉄棒を使った運動遊びの行い方を知るとともに、支持しての揺れや上がり下りぶら下がりや易しい回転をすることができる。
エ	・水の中を移動する運動遊び、もぐる・浮く運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを身に着けること。

○思考・判断・表現

記号	内容
ア	・楽しくできる多様な動きをつくる運動遊びを選んでいる。 ・友達のよい動きを見付けたり、工夫したりした楽しい遊び方を友達に伝えている。
イ	・走の運動遊びの簡単な遊び方を選んでいる。 ・友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えている。
ウ	・鉄棒を使った運動遊びの簡単な遊び方を選んでいる。 ・友達のよい動きを見付けたり考えたりしたことを友達に伝えている。
エ	・水の中を移動したり、もぐったり浮いたりする簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えていること。

○主体的に学習に取り組む態度

記号	内容
ア	・体づくり運動に進んで取り組むとともに、きまりを守り仲よく運動しようとしたり、運動をする場の安全に気を付けようとしたりしている。
イ	・走の運動遊びに進んで取り組むとともに、順番やきまりを守り勝敗を受け入れて仲よく運動しようとしたり、運動をする場の安全に気を付けようとしたりしている。
ウ	・鉄棒を使った運動に進んで取り組むとともに、順番やきまりを守って仲良く運動したり、運動する場の安全に気を付けたりしている。

エ

・運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とも仲よく運動をしたり、水遊びの心得を守って安全に気を付けたりすること。

第1学年 特別活動 評価規準

○学級活動

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
・みんなと楽しい学級生活をつくることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動や実践の基本的な進め方や役割を理解し、技能を身に付けている。	・楽しい学級生活をつくるための課題を見だし、その解決のために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法について考え、合意形成を図り、仲よく助け合って実践している。	・みんなと楽しい学級生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、身に付けたことを生かし、自分の考えをもち、役割を意識しながら仲よく助け合って集団活動に取り組もうとしている。

○児童会活動

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
・みんなと楽しい学校生活をつくることの楽しさやそのために高学年を中心に活動していること、そのための活動内容や参加の仕方を理解し、技能を身に付けている。	・楽しい学校生活をつくるために、児童会の一員としての役割や自分たちにできることを考えて話し合い、合意形成を図ったり、意思決定をしたりして実践している。	・みんなと楽しい学校生活をつくるための集団活動に興味・関心をもち、見通しをもったり振り返ったりしながら、仲よく助け合って学校をよりよくしようとしている。

○学校行事

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
・学校行事の楽しさやそれぞれの行事の内容や参加の仕方を理解し、行事のねらいに合った参加の仕方を身に付けている。	・学校や学年の一員であることを意識しながら、学校行事での自分の役割や自分にできることを考えて話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりしながら実践している。	・学校行事に関心をもち、見通しをもったり振り返ったりしながら、仲よく助け合って取り組もうとしている。

第1・2学年 行動のようす

【基本的な生活習慣】

- ・丁寧な言葉づかいやきちんとした態度で返事やあいさつをしている。
- ・学級・学校のきまりや約束を守り、規則正しい生活をしている。
- ・校内の生活リズムに合わせた行動をとっている。
- ・好き嫌いなく食べている。
- ・交通ルールや学校のきまりがあることが分かり、安全に気を付けて生活している。
- ・机の中やロッカーの整頓など身の回りを整えている。
- ・危ない遊びや危険な場所での遊びをしないで、安全に遊んでいる。

【健康・体力の向上】

- ・ハンカチやちり紙などの用意や、手洗い・うがいなど清潔や衛生に気をつけて生活している。
- ・仲間と素直にのびのびと生活している。
- ・よい姿勢で学習している。
- ・自ら進んで運動遊びを楽しんでいる。

【自主・自律】

- ・自分の考えをみんなの前で発表しようとしている。
- ・よいと思うことをものおじせずに進んで行っている。
- ・学習や役割に最後まで粘り強く努力している。

【責任感】

- ・自分の使った道具や用具を、きちんと片付けている。
- ・学級の係や当番の仕事を最後まで行っている。

【創意工夫】

- ・生活の中で、よい方法を考えながら活動している。
- ・係や当番の仕事をしているとき、自分でよりよい方法を考えて上手に行っている。
- ・興味あることをまねたり、遊びを楽しんだりして工夫している。
- ・自分のしたいことやできることを素直に表現したり、行動に表したりしている。

【思いやり・協力】

- ・様々なやり取りを通じて、友達を大事にしている。
- ・困っている友達には、進んで手をかけている。
- ・身近にいる幼児や高齢者に対して、優しく接したり、助けたりしている。
- ・友達の役割が遅れたり、できないときは、待ってあげたり手伝ってあげたりしている。

【生命尊重・自然愛護】

- ・身近な自然の中で楽しく遊んでいる。
- ・草花や小動物にやさしい心で接している。
- ・草花や小動物などの世話を喜んでしている。
- ・自分の成長を喜び、自他の生命も同じように大切にしている。

【勤労・奉仕】

- ・頼まれたことや自分でできる手伝いや役割などを喜んでしている。
- ・友達や先生の手伝いを進んでしている。

【公正・公平】

- ・いろいろな友達と仲良くしている。
- ・まちがいや正しくないことをしているときは注意している。
- ・友だちから強く言われても、言いなりにならず自分の力で考えてから行動している。

【公共心・公德心】

- ・学校でみんなが使うものを大切にしている。
- ・みんなが使うものや場所を大切にしている。
- ・登下校では、交通ルールを守り、他の人に迷惑をかけずに行動している。